

組織の「健康診断」

内部監査

寄稿

本学が地域医療を担う優秀な医療人の育成という社会的使命を全うするためには、大学そのものの健全な経営が基本となります。そこには、常にコンプライアンスを遵守し、レベルの高い教学活動を持続する姿勢が必要です。内部監査室は、コンプライアンス遵守、組織の透明性等の観点から、リスク評価、改善提言・提案を経営トップの委託を受けて独立した立場で行う部署です。昨年7月に着任した濱本高義内部監査室長に内部監査の活動内容や内部監査の意義について寄稿していただきました。（NL編集部）



リスクの回避と最小化で健全運営に寄与

濱本 高義 内部監査室長

本学内でのアンケートやヒアリングにおいて、内部監査や内部監査の活動についてわかりやすく教えてほしいという要望が多くありました。これを機会に、内部監査について皆様に理解を深めていただくために、今回、内部監査について簡単にまとめました。

内部監査は、大学の教学諸活動（教育・研究・社会貢献）の永続的な存続・発展の観点から、健全な運営に寄与するために行われる、客観的な評価（アシュアランス活動）および改善提言・提案活動（コンサルティング活動）です。客観性・独立性を守るために、特定の執行組織に属することなく経営トップの委託を受けて、次の各プロセスの有効性を評価し、必要に応じて改善を提言・提案します。

① リスク・マネジメント：組織目標の達成を阻害する要因をリスクとして識別、分析、評価し、当該リスクの回避、低減などによる適切な対応を行う一連のプロセス

② 内部統制：i)業務の有効性と効率性の向上、ii)財務報告の信頼性確保、iii)運営に関する法規やルール遵守（コンプライアンス遵守）、iv)資産の保全を図る

③ ガバナンス：組織統治のことで、組織の不祥事を防ぎ、健全な経営・運用活動を行うために、大学を監視・統制する仕組み

また、本学において重要な監事監査及び会計監査のそれぞれを担う監事及び会計監査人（くまもと監査法人）とも連携して監査（三様監査）を実施しています（図参照）。

内部監査は、その活動内容から、よく組織の「健康診断」だと言われます。「大学」を「ヒトの体」と考えていただき、

現場の問題点 早期発見し改善提言・提案

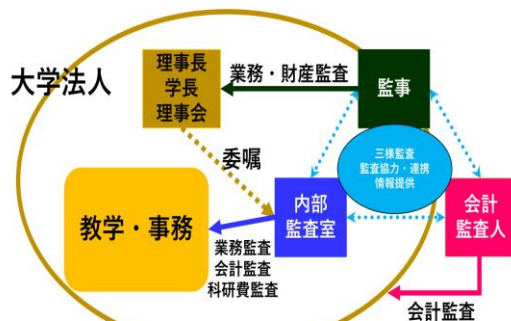
「内部監査」という名の「健康診断」を通して、病気あるいは今後病気になりそうな部分（経営・運営リスク、無駄で非効率な業務、不正、法令・ルール違反、コンプライアンス違反など）を早期発見し、診断の結果を基に、必要な治療・改善や予防・再発防止の助言・提案を行います。

ヒトの体と同じく、その治療・改善といっても誰かが治してあげるのではなく、本人である大学の皆で治療・改善を図ることになります。内部監査人はその手伝いをするお医者さんやトレーナーのようなものでもあります。

内部監査は、警察・検察の不正捜査などの犯人捜しや行政が実施する監査・調査とは違います。皆さんの現場で抱えている課題・問題点を早期発見・早期改善で一緒に解決していきましょう。

また、被監査部門の皆様には、多用の中ご協力をお願いすることがありますのでよろしく願いいたします。

三様監査（監事・会計監査人・内部監査室）



充実の研究成果 堂々と発表

令和5年度の大学院修士学位論文公開発表会が6日(火)、1304M講義室であり、臨床検査領域とリハビリテーション領域の計10人が研究成果を発表しました。

1人30分の持ち時間(うち質疑応答10分)で行われました。ランニングシューズの選択が走り及ぼす影響やホエイ(乳清)がメンタルヘルスに与える効果など、研究内容は多岐にわたり、登壇した院生たちはスライドを使って研究成果を堂々と発表しました。

人工股関節全置換術後の歩行動作に関する発表を行った藤本泰裕さん(リハビリテーション領域2年)は「大学院2年間の充実感を感じ、周囲のサポートに深く感謝しています。今後も研究活動を続け、この貴重な経験を十分に生かしていきたいと考えています」と話していました。

院生たちの発表を見守った川口辰哉大学院研究科長は「いずれも独自性があり興味深い研究ばかりで、大学院教育も量と質の両面で進化してきているのを

感じます。これもひとえに、ご指導いただいた先生の尽力の賜物だと感謝申し上げます」と目を細めていました。(入試・広報課)



緊張の面持ちで研究成果を発表する大学院生

八巻さん(リハ領域)ポスター発表

日本スポーツ理学療法学会

第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会が1月6日(土)～7日(日)、埼玉県大宮市のソニックシティで開催され、大学院保健科学研究科リハビリテーション領域の八巻魁成さん=写真=が「膝関節傷害の既往を持つ実業団女性アスリートにおける対側健常膝の動的姿勢制御能力」と題してポスター発表を行いました。

八巻さんにとっては2回目の学会発

表です。無事に発表を終え「今回は発表を通じて多くの方と意見交換をさせていただきました。今後の課題や研究に繋がるアイデアも見つかり、充実した時間を過ごすことが出来ました。これからも研究活動を頑張っていきます」と意欲を見せていました。今後の更なる活躍が期待されます。

(大学院リハ領域 本田啓太)



陸自曹友会から 車椅子の寄贈

陸上自衛隊の陸曹でつくる陸上自衛隊熊本地区曹友会から1日(木)、車椅子1台の寄贈がありました。竹屋元裕学長立ち合いのもと、看護学科の荒尾博美副学科長が熊本地区曹友会の渡邊義修会長から車椅子を受け取りました。渡邊会長は「教育実習等に使用いただき、よい看護師やセラピストになっていただきたいです」と話していました。

同会は会員約5000人。これまで施設等に累計180台ほどの車椅子を寄贈しているほか、熊本城マラソンや「熊本暮らし人まつりみずあかり」などのイベントを支援しています。

(入試・広報課)



熊本地区曹友会の渡邊会長から車椅子を贈られる荒尾副学科長

■九州7会場で一般選抜実施

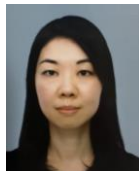
学部入試の中で最大規模となる一般選抜を4日（日）、実施しました。熊本会場（本学）のほか、福岡、長崎、大分、宮崎、鹿児島、那覇に会場を設け、全学科・専攻計133人の定員枠に大勢の受験生が挑みました。

合格発表は16日（金）で、大学入学共通テスト利用選抜（前期日程）と併せて発表します。今後は、24日（土）に大学院一般選抜・社会人選抜（Ⅱ期）、3月4日（月）に大学入学共通テスト利用選抜（後期日程）を予定しています。
（入試・広報課）

よろしくお願ひします！

新規採用職員

（敬称略）



◆清田 あゆみ（教学支援課 共通教育センター事務）

鹿児島島の大学で事務職員として勤務し、約15年ぶりに地元の熊本に帰ってきました。学生さんが実りある学生生活を送ることができるように精一杯サポートいたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

退職者

（敬称略）

◇平田飛鳥（就職・実習支援課）2月11日付

インフォメーション

週間行事予定（2月13日～19日）

| | |
|-----------|--|
| 2 / 13（火） | 医学検査学科3年生対象 職種紹介（～14日） 臨床検査技師国家試験に向けて学生出発（13:30～） |
| 2 / 16（金） | 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜合格発表（10:00～） 言語聴覚士国家試験に向けて学生出発（12:00～） キャンパスハラスメント防止研修会（14:30～ 1300L講義室） |
| 2 / 17（土） | 理学療法士・作業療法士国家試験に向けて学生出発（13:30～） |